

## プロフィール（自己PR）

我が家には娘が2人います。  
2人とも塔山小学校卒業、第十中学校、中野東中学校を卒業しました。  
その間、塔山小学校では平成24年度にPTA副会長、平成25年度に金管バンド父母会会長、平成27・28・31年度にPTA会長を、中野東中学校では令和3・4年度にPTA副会長を務めさせていただきました。  
平成27年以降の会長、副会長の時にはフルタイム勤務でしたが、皆さまのご協力と支えがあって貴重な経験をさせていただくことができました。  
役員ではなくても積極的に学校に関わるようにしてきましたが、それは、我が子に「自分と同じ思いをさせたくない」「絶対に守る」という強い思いからです。  
私は小学生の時にいじめにあい「自ら命を絶ちたい」と毎日のように考えていました。  
幸いなことにその後の学年の担任に恵まれ、その一線をこえることはありませんでしたが、高校生の時にそのいじめが担任が主導したものだったという告白を受け衝撃を受けました。  
教員によりいじめを経験し、教員により救われた…。その経験が先の強い思いとなります。  
我が子を守るためには、お友達もクラスの子も学校の子も地域の子も、全ての子ども達を守らなければ…。我が子だけが良ければそれでいいということはなく  
「我が子だけでなく、どの子にも同じ思いをしてほしくない」…それが根っこにあります。  
そんな中、我が家の娘達はそれぞれ中学2年生の終わりに「起立性調節障害」と診断されました。  
長女が診断された9年前は今ほどの認知度はなく、主治医からの「この病気で一番大切なのは、一人でも多くの理解者を得ること」という言葉をきっかけに「伝える」活動をスタート。  
2022年から「Kiku-Ne（キクネ）」代表として、起立性調節障害についての周知・認知・理解のための啓発活動を行っています。  
講演会や教職員研修、養護教諭部会、学校保健委員会等での講師、各媒体でのインタビュー、ラジオ出演、起立性調節障害の実話をもとにした映画「今日も明日も負け犬。」上映会開催（現在、16会場18回）等の活動の他、  
学びリンク様主催の通信制高校合同相談会各会場にて起立性調節障害の相談コーナーと講演を担当させていただき、年間約200組近くのご相談をお受けしています。  
全ての子ども達にとって「学びやすく」「生きやすい道」を選択できる環境を整えるのは大人の役目だと考えています。

教育委員になった際に取り組む課題（箇条書き）

※優先度の高いものから順に、3項目以内で記入してください。

<p>1.（課題） 起立性調節障害をはじめとする目に見えない病に対する教育現場での知識と理解の促進 について</p>
<p>その解決方法（箇条書きで簡潔に）</p> <p>【学校任せ、家庭任せではなく、学校と家庭とが協力して子ども達にとって安心できる環境を検討していくために】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員一人ひとりの努力や意識に任せるのではなく、教職員研修として勤務時間内に学び考える時間を確保する。</li> <li>・短時間で単発の聴くだけの研修ではなく、継続的(年に1回だとしても)かつ、ディスカッション等でより現実的な落とし込みができる研修時間をつくる。</li> </ul>
<p>2.（課題） 学校に登校できない児童生徒の学びと選択肢の確保 について</p>
<p>その解決方法（箇条書きで簡潔に）</p> <p>【義務教育以降への選択肢・進路の多様性を知る、大人の価値感や普通、当たり前といったものさしのリセットのために】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校単位ではなく、区教委としての環境整備（オンライン・校内フリースクール・ホームスクーリングの出席と評価認定等）</li> <li>・教職員、保護者(いわゆる大人世代)への、多様な選択肢と仕組みを学ぶ機会をつくる。</li> <li>・登校できないことが悪いこと、将来がないというような思い込みからのリセットのため、元当事者や保護者のリアルな体験を知る機会をつくる。（全児童生徒・保護者向け）</li> <li>・都立チャレンジスクール、定時制高校、通信制高校等の多様な学びのある学校を集めた進路相談会を開催する。</li> </ul>
<p>3.（課題） より具体的な道德教育 について</p>
<p>その解決方法（箇条書きで簡潔に）</p> <p>【いじめや多様性について机上の学びだけで終わらせないために】 【子どもも大人も共に学び成長するために】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材だけではなく、実際の体験談をリアルに聴くなどの、より自分事として感じる学びの時間をつくる。</li> <li>・児童生徒と保護者が一緒に聴講する講演会等を開催する。</li> </ul>

氏名 野澤 菊枝

教育委員に応募する理由（横書きで記入してください）

私が教育委員に応募する理由は3つあります。  
一つ目は、全ての子ども達に私自身が子ども頃に経験した「命を絶ちたい」という同じ思いをしてほしくないということ。  
二つ目は、我が家の娘達が「起立性調節障害」を発症したことで得た経験から、目に見えない病や障害・特性等で苦しんでいる子ども達にとって「ともに生きる社会」をつくりたいと考えること。  
そして三つ目は、大人が生きてきた社会や価値感や当たり前という大人の物差しで子ども達の未来や環境を考えるのではなく、今の新しい時代を生きる子ども達にとっての「学びやすく」「生きやすい」社会をつくるのは大人の役目だと考えることです。  
これまで自分のできる範囲で学校や子ども達に関わってきましたが、不登校の児童生徒が増加の一途をたどる中で、もう一步踏み込んで関わりたいと考えました。  
全ての子ども達が、急がず焦らず諦めず自分らしく歩んでいける環境をつくりたいです。